

◆俯瞰メール第2世代 004号◆

ここでは俯瞰メール第2世代の最初のフェーズとして、今の混沌の中で先が見えないコロナ後の世界を認識するために、「コロナ後の世界 社会・ビジネス・政治」、「コロナ後の経済・産業・企業」、「Gゼロの世界 地経学で理解する新冷戦」、「コロナ後 日本の処方箋」を視座とします。そして、俯瞰サロンのご案内、俯瞰人の日常生活、俯瞰人の料理あれこれ、私感・雑感、という構成としました。

記事は、(社)俯瞰工学研究所のHP：<https://www.fukan.jp/>の「俯瞰 MAIL 第2世代」に掲載します。ご意見、ご感想を頂けると励みになります。また読者の皆さんからの投稿も歓迎です。俯瞰メールは約6000人に配信しており、熱心に読んで頂いている方がかなりいらっしゃいます。年賀状で、読んでいます！というご連絡を複数いただきました。ありがとうございます。

1月21日 俯瞰人 松島克守

◆時候のご挨拶◆

北国の大雪、吹雪のニュースで、ご当地の皆さんのご苦労、とりわけ雪下ろしの事故に心を痛めております。東京は穏やかで晴れた日が多く、改めて恵まれた土地だと実感しますが、外出者が多く、コロナ感染が酷くなってはいけません。これから本格的な寒波も来るでしょうが、コロナにうつらない、うつさない、の決意を新たにしましょう。

◆目次◆

1. コロナ後の世界
バイデン政権発足、依然として収束が見えないコロナ感染、苦戦するコロナワクチン接種
2. コロナ後の企業・産業
巨大IT企業に厳しい難問、IT企業の新規参入で自動車業界の覇権は
3. Gゼロの世界 地経学で理解する新冷戦
ワクチン外交で地政学的覇権を拡大する中国
4. コロナ後の日本 どう変わる、どう変える
それにしても酷すぎる菅首相、コロナ後の日本新生のビジョン政策を語れ
5. 俯瞰サロンのご案内
80回映像掲載、81回（2/24）、82回（3/18）
6. 読者の投稿
7. 俯瞰人の料理あれこれ
8. 私感・雑感

◆1.コロナ後の世界◆

<バイデン政権発足>

ついにバイデン新政権が発足しました。世界中が、粗野で野卑なトランプ元大統領に翻弄された4年間でした。と同時に、国際社会におけるアメリカの信頼が大きく毀損した4年間でした。

トランプ元大統領が就任直後に離脱を決めた「パリ協定」への復帰を、バイデン大統領は就任直後に発表しました。気候温暖化対策は、最大の温暖化ガス排出国であるアメリカと中国が共同して強力に推進し、国際社会を牽引する課題です。そしてアメリカが国際社会におけるリーダーシップを取り戻すきっかけになります。結果として、アメリカと中国の対話が進むかもしれません。

バイデン新大統領は就任演説の中で、分断の解消と国民の融和を繰り返し語っていましたが、分断は根深い構造的なものですから、短時間では本質的に解消することは難しいと思います。白人がアメリカの支配層であったこれまでの時代と異なり、すでに白人以外の人種の人口が多数となりつつあり、出生率を考えると白人は少数派に転落し、アメリカの支配力を失いつつあるという白人の焦りと寂寥感は、簡単には解消するものではありません。

バイデン政権の閣僚人事を見ると、ハリス副大統領を筆頭に女性と非白人が半数以上を占め、これからのアメリカ社会の構造を象徴するようにも見えます。他民族の連邦国家であるという認識を、全国民が受け入れる必要があります。

ともかくコロナ収束へ全力を尽くすのが第一の課題ですが、国際協調路線に復帰するために、急速にオバマ政権の路線に近づけていくでしょうが、いちど失った国際社会の信頼は簡単には回復できないでしょう。加えて、トランプ元大統領が今後も岩盤支持層を使って政治的な影響力を持ち続けられれば、国際社会はバイデン新大統領の新路線を素直に受け入れて路線変更をすることためらうでしょう。

今後のことはもうしばらく経たないとわかりませんが、少なくとも悪夢の4年間はともかく終わりました。

<依然として収束が見えないコロナ感染>

コロナ感染はとどまるところを知りません。ヨーロッパもさらに感染が広がり苦戦しています。なにしろウイルスが次々と変異して感染力が強くなっています。

毎日世界の感染者数が新聞に報じられ、気になるのはヨーロッパの中核であるイギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペインがベスト10に常駐していることです。相対的に人口が多いという理由はわかりますが、その分経済活動の裾野が広いですから、コロナ感染によるロックダウンから受ける経済的な損失は大きくなります。加えてロックダウンが長引けば、その分経済損失は増えます。なぜ西ヨーロッパの先進国がこれまでコロナ感染に弱いのか、気になります。やはり社会の規範が日本とか東アジアと違うのでしょうか。個人主義が、社会の規範として定着しているのでしょうか。個人の自由を重要視する民主主義の規範でしょうか。

共産党独裁の中国は、当然、最も統制のとれた国家ですので抑えこんできましたが、ここにきて感染が広がりつつあります。中国もあまりひどい報道統制は世界の信用を失いますので、今回は一定程度情報開示していると思います。それでもWHOの原因調査団の入国を妨害し、コロナ感染の原因の究明を妨げています。原因調査の必要に言及したオーストラリアに対する反射的な厳しい輸入制限は、見方によっては感染源と初期の対応においてやましいと感ずるところがあるでしょう。

今後の経済見通しについては急速に回復するという論調が目につきます。この状態では当分経済は持続的に回復するとは思えません。むしろ抑え込まれた消費は、規制が放たれば一時的に回復するでしょうが、安定した雇用がなければ財布の紐は固くなるでしょう。

<苦戦するコロナワクチン接種>

コロナワクチンの開発が成功して、ワクチン接種が始まり、トンネルの出口が見えたかに思いましたが、各国とも計画通りにはワクチン接種が進んでいません。イギリスはジョンソン首相をはじめとして、高齢のエリザベス女王ご夫妻までもワクチン接種を受け、国民にワクチン接種を積極的に受けるように呼びかけています。さすがイギリスのノブレス・オブリージュの文化です。それでも諸般の事情で計画通りに接種が進んでいません。

ヨーロッパも全国民にワクチン接種をするという、これまで経験したことがないプロジェクトのため、準備不足や、国内調整に手間取っています。科学者が全身全霊をかけて開発したワクチンも、社会が、人々が素直に受け入れる訳では無いようです。冷静に考えれば、天然痘やポリオ、種痘などワクチンによって病気を根絶してきた歴史に輝くヨーロッパですが。

アメリカでは、トランプ大統領がワクチン接種の号令をかけましたが、やはり現場がなかなか動かず、ワクチン接種の大規模な実施はバイデン新大統領に引き継がれることになりました。ワクチン接種会場を増やす事は政治と行政でできますが、ワクチン接種をためらう人々の心理をどう導くか、これがまさにリーダーの仕事です。

日本も菅首相が2月末からワクチン接種を始めると言明していますが、承認手続きは従来の手続きを変えることができず、手間取っています。気がつけば、先進国でワクチン接種を始めていない国は日本だけです。心配なのは接種会場を十分用意していると言っていますが、細かい計画レベルが詰められているかどうかです。コロナ患者の対応で手一杯の医療関係者が、ワクチン接種に割く時間が取れるかです。

ヨーロッパでは薬局でもできるようにしたようですが、日本も思い切った発想の転換をしないと、ワクチン接種が短期間で進まない可能性があります。ワクチン接種が進まないという事は、すなわち経済や日常生活が普通に返ることに時間がかかるということになります。

インドは13億の人口を持っており、まず3億人にワクチン接種をするという野心的なプロジェクトをスタートされました。世界最大の民主主義国家と言われていますが、結果が注目されます。インド人といってもいくつかのセグメントがありますから、先端技術に関わるような階層の人々は積極的にワクチン接種を受けることによって、イスラエルと同じように早急に競争優位のポジションを確立したいと思っているかもしれません。

その点では、イスラエルは積極的にワクチン接種を進め、各国がもたもたしている間に競争優位を確立しようとしています。さすがユダヤのたくましい姿を感じます。

とにかくワクチン接種が広く実施されないと、経済や社会生活は元に戻りません。

変異種で「医療崩壊」迫る海外の新型コロナ対策 罰則は厳しく、補償は厚く

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/79502>

中国、コロナ感染増加の傾向 1 千万都市で移動を制限

<https://www.asahi.com/articles/ASP1D3HNVP18UHBI01W.html>

新型コロナワクチン 世界の状況や効果 WHO の見解は？

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210113/k10012811901000.html>

イギリス、コロナ死者最多更新 ジョンソン首相「ワクチンの 24 時間接種体制を整備へ」

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2021/01/24-28.php>

ドイツ外相、ワクチン接種者の制限緩和を提言 他の閣僚は反対

<https://jp.reuters.com/article/health-coronavirus-germany-maas-idJPKBN29N08J?il=0>

「ワクチン接種のペース遅すぎる」 EU 各国で批判噴出 仏では意思確認に 5 日間

<https://mainichi.jp/articles/20210112/k00/00m/030/136000c>

アメリカでワクチン接種に遅れ——なぜ？ そして、対策は？

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fc60dbca870afbbfb65803ec5af1117e5da10038>

新型コロナワクチン接種開始 夏までに 3 億人の計画

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210116/k10012818341000.html>

コロナワクチン接種、海外渡航の条件にならず WHO が勧告

<https://jp.reuters.com/article/health-coronavirus-who-panel-idJPKBN29K2L3>

◆2. コロナ後の企業・産業◆

＜巨大 IT 企業に厳しい難問＞

GAFと呼ばれるアメリカ資本の巨大ITプラットフォームは、ヨーロッパを中心としたデジタル課税とEUの巨大ITに包括規制案、即ち、自社優遇は違法という独禁法の対応に苦戦してきましたが、ここにきてさらに難題が持ち上がってきました。

SNSでトランプ大統領が暴動を煽ったとして、彼のアカウントをFacebookやTwitterが永久停止にしました。遅すぎたという声もありますが、一方ドイツのメルケル首相やアメリカ国内からも、個人の言論の自由を制限するもので、民間企業が言論統制をするのは如何なものかという厳しい批判が多く出されています。まさにジレンマです。

もともとインターネットと SNS という技術の進歩と普及の速度が早く、法律や社会的な規範が追いついてきていません。ですからこのような議論は当然ですが、これからこれを丁寧に議論して、社会的な規範として多くの人々が受け入れる形を模索する必要があります。一方せっかちに法律による規制を急ぐと、それもまた本来の言論の自由を制限することにもなりかねません。

この難題は、まだ日本ではそれほど議論が広がっていませんが、問題の根幹は世界と共通ですので、日本もこの議論を丁寧に進める必要があります。注意すべきは、今の状況だと、個人の自由を規制する話は「しょうがない」として、本来規制すべきでない領域まで踏み込んでしまう恐れがあります。規制に

よっては、時限立法で処理する事項もあってよいと思います。個人の自由は民主主義の根幹ですから。

このような議論を丁寧に進める時の懸念は、日本の野党は感情的に議論することです。これまでのコロナ対策の議論を見ても、立憲民主党の枝野さんは俯瞰的な意見を表明しているようには見えません。残念ながら言論の自由を、ネット社会の今、どのように社会規範として確立していくか、幅広く深く議論する風土が日本には欠けています。憲法改正の議論ばかり、いきなり憲法 9 条に議論が飛んでしまいます。何を見ても日本の政治家が未成熟で子供っぽいような印象をぬぐえません。

加えてトランプ元大統領のアカウント停止の結果、暗号化の SNS の加入者が急増しているということです。これまでも、そこそこの規模で非合法に近い情報交換がされてきたサイトのように、ここに来て Facebook や Twitter そして Amazon から追放された極右グループが大挙して移動しているようです。暗号化されているので SNS を監視している警備当局が内容を見ることが極めて困難になります。トランプ元大統領がかねて言明している、トランプ党の SNS を立ち上げるということも、あながち無視できません。かなりの数がそこに集り、これまでのように社会の分断を声高に議論し、過激な行動を扇動する可能性があります。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGR148M20U0A211C2000000>

グーグル アメリカ司法省が提訴の裁判 本格審理は 23 年 9 月開始

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201219/k10012773371000.html>

FB とグーグル、まもなく 4 件の訴訟に直面か

<https://jbpress.ismedia.jp/articles/-/63111>

Twitter、トランプ大統領のアカウントを異例の「永久停止」に

<https://japan.cnet.com/article/35164894/>

SNS のトランプ氏アカ停止は「問題」独首相

<https://www.afpbb.com/articles/-/3325655>

S N S の「権力」に懸念も、トランプ氏永久凍結で

<https://jp.reuters.com/article/idJPL4N2JM31M>

「表現の自由侵害」SNS 停止に批判、米で IT 規制論が急浮上

<https://www.sankei.com/world/news/210112/wor2101120017-n1.html>

S N S の「権力」に懸念も、トランプ氏永久凍結で

<https://jp.reuters.com/article/angle-social-medieia-trump-idJPKBN29G244>

言論の自由を謳うソーシャルアプリと暗号化メッセンジャーが米議事堂暴動後にダウンロード数急増

<https://jp.techcrunch.com/2021/01/12/2021-01-11-following-riots-alternative-social-apps-and-private-messengers-top-the-app-stores/?guccounter>

＜IT 企業の新規参入で自動車業界の覇権は＞

自動車産業は想像以上に現在の産業構造が激変します。従来の自動車メーカーが築いてきた垂直統合の生産システム、スマートフォンのような水平分業の構造になり、そこに Apple や Amazon 、そしてソニーのようなハイテク企業が新規参入してきます。新興国、とりわけ中国には大きなチャンスです。

現在はテスラがEVで急成長していますが、その生産拠点やサプライチェーンは中国にあります。そのテスラを追いかけて、その先を行く中国企業が続々と現れています。次世代の電池と言われていた固形電池を積んだ中国のNIOは、アメリカ金融市場で高い評価を受けています。

さらにガソリン車よりも低価格の小型のEVは、都市における移動手段として注目されます。

加えて、走るスマホとなったEV市場の拡大を見て、IT企業が続々と新規参入してきました。彼らは自動車の販売からではなく、その後のサービスを収入源と考えていますから、当然車両は現在の自動車企業から調達ことになるでしょう。巨額の投資が必要な自動車製造システムを、自ら持つ必要がありません。結果として現在の自動車製造企業は、IT企業の単なるハードウェアサプライヤーになってしまいます。

自動車産業が始まって以来の、これほどの激変の中で、まだ当分はハイブリッドで行けると考えている企業は、10 年後には姿を消している可能性があります。自動車企業が数多くある日本でも、トヨタ以外は消滅する可能性もあります。

日本の自動車業界は、いきなりガソリン車をなくすのは問題があるから、当分はハイブリット車で頑張ると言っていますが、世界の潮流、とりわけ中国市場とヨーロッパ市場は完全に EV に舵を切っています。現在の自動車のサプライヤーを中小企業の保護という名目で温存すれば、産業全体として凋落していきます。自動車業界が、トヨタを筆頭に 550 万人いるという雇用を現在の形で温存すれば、日本の自動車産業は崩落するでしょう。

大きな技術革新と産業構造の変化に対し、これまでの投資に拘泥して結果として壊滅していた最近の例は、プラズマディスプレイです。最後まで Panasonic が粘っていましたが、なんで粘っていたのか理解できません。そして会社も傾きました。産業としてのテレビ事業は、韓国そして中国に覇権を奪われました。

アップルは EV でテスラ最大のライバルに…資金、人材、技術、ブランドで優位に立てるとアナリストは分析

<https://www.businessinsider.jp/post-226739>

現代自とアップル、自動運転 EV で提携へ＝韓国メディア

<https://jp.reuters.com/article/hyundai-motor-apple-idJPKBN29G0I8>

中国 EV メーカー N I O、米株市場で最高値更新－新型バッテリー評価

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2021-01-12/QMRUSEDWX2PY01>

「中国のテスラ」NIO が EV 向け固体電池を発表 早ければ 2022 年にも実用化

<https://36kr.jp/112876/>

中国ネット検索最大手「バイドゥ」電気自動車 生産・販売へ

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210111/k10012809201000.html>

中国EV販売、テスラ「モデルY」参入で急成長も

<https://jp.reuters.com/article/china-ev-tesla-idJPKBN29H0HP>

10万台が爆売れした電気自動車の実力とは？ 中国産・45万円の「宏光ミニEV」に乗ってきた！

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4b7944eed502d68a19d12c82a81bb500429a8239>

中国でテスラ超えの大ヒット！ 激安EV「宏光ミニ」をなぜ日本メーカーは作れないのか!?

<https://bestcarweb.jp/feature/column/236839>

アマゾン傘下のZoox、自律走行EVタクシーを発表…4人乗り、4輪操舵、ハンドルなし

www.businessinsider.jp/post-226165?itm_source=article_link&itm_campaign=/post-226739&itm_content=https://www.businessinsider.jp/post-226165

ソニー、オリジナルEV「VISION-S」の公道テスト走行開始 「Airpeak」で空撮

<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2101/12/news062.html>

◆3. Gゼロの世界 地経学で理解する新冷戦◆

<ワクチン外交で地政学的覇権を拡大する中国>

アメリカがトランプ政権末期の大混乱で地政学的に縮小しているのに加え、ヨーロッパもコロナ感染の急拡大とブレグジットの交渉、そしてドイツ・メルケル首相の後継選出などで手一杯で地政学的な活動ができない隙間を狙って、中国のワクチン外交による地政学的な覇権の拡大が活発になっています。

先進国はファイザー社とアストラゼネカ社のワクチンを確保しましたが、途上国は資金難もあってワクチンを確保できません。これを補うための国連の活動「COVAX」も進捗が捗々しくなく、そこに中国は中国産のコロナワクチンを積極的に提供しています。

結果として、インドを除くASEAN ほぼ全域、そしてアフリカ諸国に積極的に中国ワクチンの供給を提案しています。他に選択肢がありませんから、各国とも色々問題があると感じつつも受け入れています。ブラジルでは中国製ワクチンの効果は50%という報告もありますが、中国は国内での臨床試験が完了していない状態で積極的に提案、提供しています。

アメリカではバイデン大統領も接種を受ける映像を公開し、イギリスでは女王陛下ご夫妻が高齢を押してワクチン接種を受けて国民にワクチン接種を積極的に受けるように啓発しています。

ちなみにロシアも急激に拡大するコロナ感染に対し、全国的なワクチン接種活動を展開していますが、肝心のプーチン大統領がワクチン接種を受けたという報道はなく、そのせいか国民も全く信頼していないようで、各地のワクチン接種施設は閑古鳥が鳴いているという報道がされています。菅首相はワクチン接種が始まれば率先して受けると言明しています。

ともあれ、トランプ政権の内政志向の政治活動と、トランプ大統領の任期末期の大統領令の乱発の中で、国際社会は中国が覇権を伸ばす絶好のチャンスを与えています。

加えて中国は、経済活動がコロナ以前よりもさらに成長することによって、各国に経済復興の支援ができます。欧米や日本もその恩恵に預かる有様ですから、コロナ後の世界で中国の国際的な存在感は否応なしに大きくなります。2028年にはアメリカのGDPを抜くといわれていますから、文句なしに世界最大の経済大国になります。

この勢いに乗る中国は、台湾そして場合によっては尖閣諸島も軍事力で併合することも検討しているとも言われています。

日本をはじめヨーロッパ、アジア諸国はコロナ後の世界で、中国とどう付き合うか、中国との間合いの取り方が問われます。

中国 ワクチン供給で外交関係強化の動き活発化

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210116/k10012818581000.html>

中国シノバック製ワクチン、当初より大幅に低い有効性と発表 ブラジル

<https://www.cnn.co.jp/world/35165028.html>

中国、フィリピンに国産ワクチン寄付 東南アジアでコロナ外交展開

<https://www.jiji.com/jc/article?k=20210118041057a&g=afp>

途上国へのコロナワクチン供給、中国が先行 トルコなど接種開始

<https://jp.reuters.com/article/health-coronavirus-vaccines-global-idJPKBN29K0DY>

セルビア 中国製の新型コロナワクチン到着 欧州での供給は初

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210117/k10012818661000.html>

中国外相が“ワクチン外交” アフリカなどを歴訪

<https://www.nagoyatv.com/news/kokusai.html?id=000203805>

新型ウイルスワクチンの公平配分、「壊滅的な失敗」の瀬戸際に=WHO

<https://www.bbc.com/japanese/55693197>

◆ 4. コロナ後の日本 どう変わる、どう変える ◆

<それにしても酷すぎる菅首相>

コロナ対策に対して、場当たり的な、後手後手の対応が酷すぎます。当然、内閣支持率は急落します。国民も誰も菅首相のことをまともに受け止めないでしょう。だから、緊急事態宣言後も街の人出は減っていません。感染者が増える前に、専門家のアドバイスを受け入れて対策を打つのが本来の政治ですが、まだ政界のしがらみや経済対策を国民の命より優先することに、意識しているのか、していないのかわかりません。拘泥してきました。「……王より飛車をかわいがり」ですか。

お金をあげるから旅行に行ってくれ、食事に行ってくれ、ということを専門家のアドバイスを無視して年末まで続け、コロナ感染が制御できなくなった状態で、やっと少し国民に対する自粛を強化するという有様です。

諸外国からもこの状況は批判的に見られるでしょうから、結果としてオリンピックは無理という発言が海外から出るようになりました。来年の G7 に行っても最も端っこにいる脇役になってしまうでしょう。特別招待のインド、オーストラリア、韓国の方がスポットライトを浴びるかもしれません。

結局どうして彼が首相に選ばれたのか、国民は分かりません。ほとんどの国民は自分で菅首相を選んだという意識はないでしょう。無能無策というメディアの報道の中で、無能無策という意識が国民に広く浸透してしまいました。リーダーシップに関する反面教師として役に立つかもしれませんが。いってほかの誰？河野？うそでしょう。まさか野党？日本にまともな政治家はいないのか。

<コロナ後の日本新生のビジョンと政策を語れ>

既に手遅れですが、とにかく現在のコロナ感染を抑え込むことに全力をあげるしかありません。しかしその先の世界を、ビジョンと政策を国民に提示する必要があります。だから、今は我慢してね、これが国民への自粛のお願いの仕方でしょう。自助・共助・公助、コロナ危機では順序が違うでしょう。個人でできる事は自宅引きこもりだけ？今は公助・共助・自助の順序が国民の認識です。この辺の感覚が政治家らしくないですね。先の学術会議が新内閣の最初の突っ込みだったのと同じ感覚です。自助を引っ込める必要はありませんが。

そのためにワクチン接種を円滑に、かつ短期間に行うプログラムが掲示されるべきです。そしてこれによって、いつコロナ後の世界に到達できるか国民が推測できる必要があります。

そしてコロナ後の政策は、まず傷つき破壊された社会の復旧です。復旧というより新しい社会のあり方を示して、そこに持っていく政策を提示して、国民の協力を要請すべきです。間違っても、経済政策を最初に持って来る事は避けるべきです。社会が先です。経済復興はついてきます。

そして、経済再建の実効性が信じられる政策を提示すべきです。ただし経済も棄損、破損されていますから、コロナ後の新しい産業構造、そして働き方を明示する必要があります。

日本人は、方向性が決まると、そこに向かって前進する力は大変強い事は過去が示しています。所得倍増論は国民の共感を得て、国民はその実現のために一生懸命働きました。そして、その成果として東京オリンピック、大阪万博で自分たちが先進国並みの生活の入り口に辿り着いたことを、はっきりと認識したわけです。今回のオリンピックは無理です。コロナが収束した4年後でしょう。

コロナ後の世界は元の世界ではありません。これをハッキリ明示する必要があります。傷ついているといわれる、観光業も飲食業も新しい形に生まれ変わる必要があります。小売業もすでに大きく変化しています。

そして製造業、とりわけ自動車産業は、EV化の世界的な潮流に積極的に乗っていく必要があります。間違っても、現在のHVで当座をしのぐようなアクションプランは、日本をさらに弱体化させます。

ですから、コロナ後の新しい世界を踏まえた日本の新生計画を示す必要があります。基本的な方向は「Green recovery」です。

◆5. 俯瞰塾サロンのご案内◆

<第 80 回俯瞰サロンの映像公開>

松島克守所長記念講演「コロナ後の製造業」を 1 月 22 日（金）に開催しました。80 人を超える方々にご参加いただき、ありがとうございました。当日の講演映像を youtube に掲載しましたので、ご案内いたします。

<https://youtu.be/Mznxjy96H4Q>

<第 81 回俯瞰サロン開催：2/24>

ソラミツの宮沢和正社長に聞く

日本発のブロックチェーンで世界を変える

俯瞰サロンで最多回数のご講演をお願いしているソラミツの代表取締役社長 宮沢和正さんに、ブロックチェーンの動向と展望を伺います。

2020 年 10 月 28 日、カンボジア国立銀行が、世界で初めて中央銀行デジタル通貨(Central Bank Digital Currency=CBDC)である「バコン」(BAKONG)の正式運用を開始しました。そのブロックチェーンは、ソラミツが開発した「日本発」のブロックチェーン・テクノロジーであるオープンソース「ハイパーレジャーいろは」です。

さらに宮沢さんは、年末に、「ハイパーレジャーいろは」の誕生、小さなスタートアップ企業の壮大な世界戦略と「バコン」ローンチまでの経緯、福島県会津若松市で同社が手がける地域通貨「Byacco/白虎」プロジェクトの模様などが描かれた「[ソラミツ 世界初の中銀デジタル通貨「バコン」を実現したスタートアップ～日本発のブロックチェーンで世界を変える](#)」（日経 BP 社）を上梓されました。

宮沢さんには、ちょうど 1 年前にもご登壇いただいています。それほど、社会のデジタル化において、宮沢さんの動向から目を離すことはできません。

■お申込サイト：<https://peatix.com/event/1793379/view>

■講師プロフィール

宮沢 和正（みやざわ かずまさ） ソラミツ株式会社 代表取締役。

1956 年東京生まれ。1980 年東京工業大学大学院卒（経営工学修士）、同年ソニー入社。ビデオオンデマンド企画室室長、ソニーエレクトロニクス USA IT 部門ダイレクター、ソニーパーソナルファイナンスサービス企画室長、IC カード事業部総合企画室統括部長などを歴任。2001 年にビットワレット執行役員企画統括部長に就任し、電子マネー「E d y」の立ち上げに従事。同社常務最高戦略責任者を経て、2010 年からは楽天 Edy 執行役員企画室長、ブランド業務推進部理事などを歴任。2008 年には金融庁金融審議会委員に就任。ソラミツ最高執行責任者（COO）として、ブロックチェーン技術の開発と

サービス提供に取り組む。東京工業大学経営システム工学非常勤講師、ISO/TC307 ブロックチェーン国際標準化日本代表委員を兼任

ソラミツ株式会社：同社が開発したブロックチェーン「Hyperledger Iroha」は、IBM、Intel に続いて世界で 3 番目に標準として採択され、カンボジア中央銀行や会津若松の地域通貨などに採択されている。

<https://soramitsu.co.jp/ja>

■ 著書：

・『かくして電子マネー革命はソニーから楽天に引き継がれた』カード・ウェブ編集部

・『ソラミツ 世界初の中銀デジタル通貨「バコン」を実現したスタートアップ～日本発のブロックチェーンで世界を変える』日経 BP 社 <https://www.amazon.co.jp/dp/4822289109>

<記>

■ 日時：2021 年 2 月 24 日（水） 18:30～20:30（開場：18:20）

■ 参加費用：500 円（税込）

■ 主催：（社）俯瞰工学研究所 <https://www.fukan.jp/>

■ お申込サイト：<https://peatix.com/event/1793379/view>

※お申込後に Peatix から自動送信される『お申し込み詳細』のメールに記載していますので、当日まで保管してください。

※コンビニ・ATM 払いの場合、お支払い完了後、5 分程度で『お申込み詳細メール』が配信されます。

※クレジットカード払いの場合、稀にお支払い完了まで 1 時間程度お時間がかかる場合があります。お支払い完了後メールが配信されます。

※電波状況等によっては、メールの遅延や未着が発生する可能性があります。お申込み詳細メールが届かない場合は、Peatix アプリまたは、パソコンの「マイチケット」も合わせてご確認ください。チケットの確認方法をご参照ください。

※「@peatix.com」からのメールが受信出来る様設定してください。

※サロンの開催中止以外、事務処理等の都合上、参加費の返金はいりません。

申し訳ございませんが、よろしくご了承ください。

※録画と公開について

Zoom の機能を使って録画し公開を予定しています。

映像を残したくない方は、ビデオカメラのアイコンをクリックして映像をオフにしてご参加ください。

※事前に、自動返信でお送りする開催 URL（Zoom）で利用確認を行ってください。

<第 82 回俯瞰サロン 3/18 予定>

株式会社グラファーの代表取締役 CEO の石井大地さんに、「自治体の IT システムの在り方」(仮)をお願いしています。後日、ご案内申し上げますので、ぜひ、ご予定ください。

ご参考：

株式会社グラファー <https://graffer.jp/>

面倒な“行政手続き”を IT でスマートにするグラファーが 1.8 億円を調達

<https://jp.techcrunch.com/2019/01/21/graffer-fundraising/>

◆6. 読者の投稿◆

今回寄稿いただいた八十川紀夫さんは、私の東京大学工学部精密機械工学科の同級生で、彼は空手部でした。先般まで朝日スチール工業株式会社の社長を務めていました。

読者からの投稿は大歓迎です。

<CIO 歴40年の感想：朝日スチール工業株式会社 八十川紀夫>

1. 私の CIO としての背景

昭和47年、今の会社に入社した時には電卓すらありませんでした。財務面ではしっかりしていて、外部からもしっかりした会社と評価されていました。社内では、成長に体制が付いていけず混乱状態でした。

まず、手作業のまま事務処理体制の整備に着手しました。事務がしっかりしてくると、現場の空回りが減りました。納期もかなり正確になり、4-5年間、面白いように売り上げと利益が伸びました。手作業での合理化に限界が来た頃に、IBM が小型で安価な固定ディスクマシンを売り出しました。簡易言語 RPG の生産性も評価して採用しました。IBM 側の強い勧めで、自社実務部門から SE を養成しました。実務が判っていることが、成功のカギでした。

2. 経験からの教訓

a. 「受注管理」から、つまり「受注入力と出荷消込」から導入

当時、電算機導入は先ず「給料・経理事務」からと相場が決まっていたが、敢えて「受注管理」から、つまり「受注入力と出荷消込」から導入しました。入口と出口を押さえた結果、データがその後の生産管理・棚卸・決算まで無駄なくつながりました。経理システムから始めると、データを上流で活用できず、それぞれがバラバラなシステムとなりがちです。後に、DBMS 導入とシステム全面書き換えにより、全体がリアルタイム化できました。RPA はバラバラなシステムの苦し紛れな対策では？

b. 外注を避け自社開発

社内 SE 達の意見は「外注できる水準まで構想を取りまとめればコーディングは自社開発の方が簡単である」であった。

c. システムグレードアップ時には（急がば回れ）

コンバージョンでなく、一から書き換えを選択した事が後のシステム発展の礎となった。

3. DX 推進について思うこと

a. 先ず、「DX を PR する大手 IT 企業自身の DX 化」の現実を確かめる必要があるでしょう。海外展開で成功している製造業などの素晴らしい DX 例が「日経コンピューター」「日経ものづくり」に紹介されていた。優秀な CIO や SE は IT 業界よりユーザー側に多いのでないか。ベンダーの仕事は予算や納期に縛られ一過性で終わるが、ユーザー側は長期かつ腰を落ち着けて開発できる。政府も慌てずに腰を落ち着けて欲しいですね。

b. 国鉄・日立の指定席券発給システム開発例。

ダイヤ編成が判らない日立の SE と、電算機処理の特性が判らない国鉄側の間で行ったり来たりとなり、業を煮やした国鉄側が若手実務者 20 人ぐらいを日立に「プログラミングを教えてほしい」と派遣した。日立側は教えるうちに国鉄側の実務が判りだし、国鉄側はプログラム化し易い事と困難な事とが、どういうことが理解でき成功した、という話を専門誌で読んだことがある。

c. メインフレームのセキュリティ上の安心感

オープン系はメモリー上のプログラム域と DATA 域が同一故に、DATA として侵入後、何かの刺激で容易に攻撃プログラムに変身しサーバー内部を攪乱する。メインフレームはプログラム域と DATA 域が別々で、外部から DATA 域に侵入出来ても変身できない。暴れるにはプログラム域に、ミスか悪意によってオペレーターがインストールする必要がある。

d. メインフレームのシステムメンテナンス上のメリット

ホスト側で作成した内容は瞬時に全端末に反映される。バージョンアップがあってもソフト資産はそのまま継承され端末側では手間なし。オープン系での手間と時間と経費は？

e. メインフレーム系メーカーへの提言

高性能になっているメインフレームだけで業務を完結できるような機能、すなわち簡単な表計算やメール機能を実装しなかったことは残念である。パソコンへの DATA 転送による情報漏洩を大幅に減らせたと思う。今からでも遅くはない。

f. DX の前提は先ず出力帳票の統一・整理から。

出力帳票を設計すれば必要な入力情報や途中のプロセス・DATA 構造も見えてくる。例：固定資産税関係の書式は市町村ごとに全部違っている。統一すればプログラム書き換えの手間は約 1700 分の 1 になる。年末調整の書式は事業所ごとに全部違う。統一するだけで税務事務は効率的になる。

g. 公文書から印刷罫線を極力無くする。（企業もだが）

欧米の公私の文書では、罫線にはまずお目にかかれない。手書きには罫線が必要でもプリンター出力では邪魔になるだけ。日本の SE のワークロードの 60% が罫線のずれ合わせとか。知り合いの IT 企業の社長に罫線廃止の話をしたところ、「そんなことされたら、わが社は潰れる」という返事が即座に返ってきました。我が国 SE の大部分は極めてレベルが低く単純で BLACK な働き方をさされているのが現状でしょう。

h. セキュリティの甘さ

ある損保代理店の話。最近、本部から「セキュリティの保険を売れ」と言ってきた。しかし、「顧客によってセキュリティのレベルに大差がある。どう取り扱ったらよいか？」と尋ねると、合理的な説明は一つもなく「とにかく売ればよい」とのことであった。他の金融機関の意識も？？？

バックアップ。IBM の i シリーズ 2 台でのバックアップ体制を調査中、バックアップソフトの PR に来た営業マンに、当社 SE が「おたくのソフトを使ったシステムで片方の電源コードを引抜くテストがしたい」と言ったところ

「そんな恐ろしいことはできません」という返事であった。東証のダウンも担当会社だけの問題とは思えない。

マイナンバーに対する不信感は根強い。アメリカ政府でさえサイバー攻撃を防ぎきれない現状なので慌てずに再構築するのが良いでしょう。今の状態がエスカレートすればサイバー空間は 使い物にならなくなるかもしれませんね。

◆7. 俯瞰人の料理あれこれ◆

最近の美味しかった料理の紹介です。先般、カキの春巻きと、甘えびの唐揚げを紹介しましたが、手間をかけない本格的料理を意識しています。単なる手抜き、時短、ほっとくでは、料理を楽しむことになりませんか。

＜ラザニアに挑戦＞

ラザニアは好きですが、作るのが大変そうで、今まで出来上がりをテイクアウトしてきました。なにしろミートソースとベシャメルソース両方を用意する必要があります。さらにラザニアのシートを下茹でする必要があります。この取り扱いも大変そうです。

あるに日食品スーパーのパスタの棚で下茹で不要のラザニア乾麺を見つけました。「Barillia」のラザニアです。これでラザニアに挑戦する気が出ました。

ひき肉入りのトマトソースは作りました。ホワイトソースは作りませんでした。代わりに生クリームを使うことにしました。

みじん切りのタマネギとニンニクをバターで炒め、そこに合挽きのひき肉を入れて炒めます。塩胡椒で味を調え、そこに市販のトマトソースを入れてひき肉ソースを作りました。

最近、手間をかけないために市販のトマトソースをよく使います。トマトソースはできるだけ有機のモノを選び、最近、紙パックのイタリア産「オーガニックトマトソース」を愛用しています。

オーブン用の耐熱容器にバターを塗り、ラザニアシートを一枚敷きます。そしてその上にミートソースを延ばします。そしてラザニアのシートを置きます。これを繰り返すとありますが、もともと作る量が少ないので二層で終わりです。

一番上のラザニアシートの上から通常のベシャメルソースの代わりに生クリームを入れカバーしました。さらにパルメザンチーズをすりおろして上に散らします。そしてオーブンで 20 分焼きます。

絶品でした。ベシャメルソースを作る手間を省いて生クリームを使ったのは大成功でした。市販のものはちょっと異なりましたが、生クリームのおかげで美味しかったです。

最近愛用しているグラタン皿は、ちょっと高いですが、staub 「レクタンギュラー ディッシュ 20×16cm 」セラミック グラタン皿 オープン 電子レンジ対応です。二人分には少し大きいですが、テーブルでも映えます。

<ナスのグラタン>

ナスのグラタンも昔からよく作りました。関連したレシピもたくさん発表されています。多くは茄子とひき肉入りのトマトソースのレシピが多いです。ひき肉入りのトマトソースを作るのはそれほど面倒ではありませんが、今回はひき肉なしと簡略化しています。

茄子は1センチくらいの輪切りにしてオリーブ油で両面焼きます。グラタン皿にオリーブ油を塗ってまず市販のトマトソースを敷きます。愛用している市販のトマトソースを使います。その上に茄子の焼いたものを適当に並べて少しトマトソースをまたかけます。

その上にパルメザンチーズをすりおろしてふりかけます。そして生クリームを、全体をカバーするように流し込みます。そしてパン粉を散らして、グリルで約20分焦げ目をつけます。

さすが生クリームです。どちらかというと南ヨーロッパの感じの茄子のグラタンが、フレンチになりました。美味しかったです。市販のトマトソースを使うことによって短時間で高級な一品ができた感じです。

<イワシツミレのカレー風味の唐揚げ>

イワシのツミレはこれまでは味噌汁にしてみました。ふと思いついて、カレー粉を軽くまぶし、小麦粉はたいて唐揚げにしてみました。絶品です。イワシのツミレは市販のもの使いました。生魚からつくともっと美味しいかもしれませんね。ただ手間がかかると作る回数が減ります。

<ブロッコリーのオイスターソース蒸し焼き>

ブロッコリーが旬です。料理法は色々ですが、最近はオイスターソースの蒸し炒めをよく作ります。

ブロッコリーを子房に分け、大きいものはさらに半分に切ります。

フライパンにニンニクと唐辛子を入れてオリーブ油で香りがつくまで炒め、ブロッコリーを入れます。その上からオイスターソースと酒をかけます。ざっと全体をかき混ぜて水100cc程度いれます。そして蓋をして10分程蒸し煮にします。塩胡椒で味を整えて出来上がりです。

<スペアリブと大根の煮物>

今更ここで紹介するほどの料理ではありませんが、最近ちょっとはまっています。圧力鍋で、短時間で大根が美味しく柔らかく。

豚のスペアリブは、まず十分ほど湯がいて油を落とします。肉がたくさん付いている場合は切り分けて、そして余分な脂も切り落とします。

軽く塩胡椒してフライパンで骨以外の面に焼き色をつけます。大根は比較的大きく切ります。

圧力鍋に焼き色をつけたスペアリブと大根を入れ、ひとひたに醤油味の煮汁を入れます。醤油と酒と味醂で適当に味付けしますが、麺つゆを使ってもいいと思います。豚と相性が良い生姜も千切りにして

入れます。

圧力鍋の加圧時間は 7 分です。これでスペアリブは骨から身がすぐ外れるようにホロホロに仕上がリ、大根は箸で取るのが難しいほど柔らかくなります。大根はかなり多めに入れて残りを次の日に食べると味が染みてとてもおいしいです。とにかく簡単にできておいしいです。

<牛肉の赤ワイン煮（本格的でシンプル）>

ビーフシチューも昔から数え切れないほど作りました。少しずつレシピも変わってきます。さらに玉ねぎを茶色になるまで炒める、これはかなり手間がかかりますので、これも市販品を使います。有名な淡路島のタマネギを使ったものや、北海道産のものが売られています。これらは Amazon でまとめて買っておきます。

牛肉はスネ肉を使います。ジップ袋に牛肉と赤ワインとローレルの葉を入れて一晩おきます。以前はここに、にんじん、たまねぎ、セロリ、ニンニクなどの香味野菜を刻んで入れましたが、今回は入れません。

肉を取り出して紙タオルで水気を吹いて塩胡椒し、小麦粉まぶします。この小麦粉はソースのとろみになりますから、しっかり振ります。フライパンで焼き色つけます。

そして圧力鍋に、市販の茶色まで炒めた玉ねぎを入れます。ここで小さじ 2 杯くらい小麦粉を入れて炒めます。ソースのとろみのためです。焼いた肉を圧力鍋に入れます。それに漉した赤ワインを入れて沸騰させます。そこに野菜ジュースを 1 缶入れます。野菜ジュースにはニンジン、セロリ、トマトなどいろいろ入っていますから、別途香味野菜を入れて炒める手間が省けます。肉がヒタヒタになる程度に水を足し、顆粒の鶏ガラスープを大さじ 1 杯入れます。そして圧力鍋で 40 分煮ます。肉は箸で食べられるほどホロホロになります。あれば市販のフォンドヴォーを入れると味が深くなります。フォンドヴォーは材料の子牛の骨が入手困難ですから、家庭で作るのは難しいです。

そして圧力が落ちてから肉を取り、ソースを煮詰めてから、塩胡椒やオイスターソースで味を整えます。酸味を抑えるため少量の砂糖を隠し味として入れることもあります。この味付けが勝負です。

市販のグラス・ド・ヴィアンドを入れれば、さらに本格的になります。フォンドヴォーを煮詰めたグラス・ド・ヴィアンドは、家庭では作れません。

別に電子レンジで蒸し煮にしたジャガイモや人参、小玉ねぎなどを添えることが多いです。日によっては、このソースでパスタを和えます。

手間をかけず、本格的な牛肉の赤ワイン煮が出来上がります。かなり本格的な料理です。

野菜ジュースはカゴメの「つぶより野菜」を料理用に箱買いして愛用しています。生鮮食料品以外最近ほとんど買い物が Amazon になってしまいました。

◆8. 私感・雑感◆

サムライになって忖度をやめた尾見分科会会長

コロナ分科会の尾見会長の紹介が日経新聞の 1 月 17 日にありました。サムライですね。去年はずいぶん政治に忤度した発言が多く、もどかしく感じましたが、ある時から吹っ切れましたね。特に菅首相についてはハッキリものを言わないといけないと思っているのではないのでしょうか。ある意味「蔭腹を切った」状態です。ですから菅首相が「尾見を黙らせよ」と言ったという報道もありますが、もうそれは出来ないでしょう。

いったんは外交官と商社マンを目指して 慶応大学に入ったものの医師になることを決心して退学して新設された自治医大に第 1 期生として入学し、その後も海外で感染症対策の医師として活躍されたとのこと。そして 50 年ぶりに剣道の道場に入門したとのこと。最近のテレビの会見を見ても、まだ少し政府に遠慮がちですが、清々しい発言で好感が持てます。サムライです。

◆俯瞰 MAIL 第 2 世代 004 号（2021 年 1 月 23 日）◆

編集：俯瞰人（松島克守）

発行：一般社団法人俯瞰工学研究所

配信：石川公子

内容・記事に関するご意見・お問い合わせ/配信解除・メールアドレス変更は下記まで

URL：<https://www.fukan.jp/>